

募集  
要項

第24回わたしたちの研究室

こんな作品を待っています！

開催趣旨

「わたしたちの研究室」は、考古学や歴史に関する児童生徒の研究成果を募集・表彰し、広くその成果を発表する場を設けることで、児童生徒が考古学の楽しさを知り、自ら学ぶ姿勢や、調べる・まとめるという力を身につける機会とすること、そしてより一層の研究活動を推奨する場として活用していただくことを目的としています。

社会科歴史的分野の研究

山梨県や身近な地域の考古学・歴史学に関係する作品および成果を提出してください。

過去の研究成果も応募可

未発表のものであれば、過去に研究した成果の応募も可能。  
※学校内で発表したものは可。

形式自由

レポート・模造紙・地図  
動画・ジオラマ等、作品の形式は自由です。

動画作品  
諸注意

時間は5～8分程度にまとめ、冒頭にタイトル・学校名・氏名を入れてください。著作権や人の映り込み等、個人情報の扱いに注意してください。データは一般的な形式(mp4など)で保存し、DVDまたはSDカードで提出してください。

個人研究部門

個人および2～3人の少人数グループでの研究が対象

児童・生徒が自由なテーマで取り組んだ作品または統一したテーマで取り組んだ作品。  
社会科や総合的な学習の時間でのグループ学習など。

小学校の部と中学校の部に分けて評価・表彰します。

表彰内容	最優秀賞	山梨県知事賞	各1点
	優秀賞	山梨県考古学協会会長賞	各2点
	優良賞	山梨県立考古博物館館長賞	若干

団体研究部門

学校・学年・学級単位での学習成果や研究が対象

統一したテーマのもとで学習・研究した児童・生徒の研究成果を取りまとめたもの、もしくはその指導過程のまとめ。

※団体研究部門に応募した個人作品は、同時に個人研究部門にもエントリーできます。

表彰内容	最優秀賞	山梨県知事賞	1点
	優秀賞	山梨県考古学協会会長賞	1点
	優良賞	山梨県立考古博物館館長賞	若干

ご応募いただいたすべての作品は、賞の有無にかかわらず下記展示会の期間に当館にて展示公開いたします。  
※最優秀賞・優秀賞に選定された作品のみ、当館広報用として次年度終了時まで引き続きお預かりします。

2027 展示会 1.30(土) ▶ 2.21(日)

下記「作品応募用紙」または当館ホームページからダウンロードできる「応募申込書(様式1)」を作品に添えて応募してください。  
団体研究部門のみ「展示用説明書(様式2)」も添えてください。



作品募集ページ

2027 作品返却 2.25(木) ▶

問い合わせ先 山梨県立考古博物館 学芸課 ☎055-266-3881

第24回わたしたちの研究室 作品応募用紙 研究部門(どちらかに○) 個人・団体

学校名	学年	氏名	( )内にふりがなをきいてください
保護者氏名	住所	連絡先	
作品タイトル			
作品数(例/模造紙3枚・土器1点)			

第24回

研究成果大募集!

わたしたちの  
研究室

募集期間 2026 9.1(火) ▶ 11.8(日)

※作品は上記期間内に郵送もしくは持参にて提出してください。  
※訪問可能な範囲であれば当館職員が取りに伺いますので個別にご相談ください。

募集種別(部門) 個人研究部門 [小学校の部 / 中学校の部]  
団体研究部門

応募形式 形式自由 例: 模造紙・レポート・立体・動画など

表彰式 2027 1.30(土) 展示会 2027 1.30(土) ▶ 2.21(日)

応募特典

最優秀賞(山梨県知事賞)ほか優秀な作品は部門ごとに表彰します。

賞にかかわらず全ての応募作品を考古博物館で展示します。

賞に応じて賞状・副賞の授与があります。また、応募者全員にオリジナル参加賞があります。

参加賞例  
クリアホルダ

くわしくは募集要項(ウラ面)をごらんください

山梨県立考古博物館では、小・中学生のみなさんが夏休みや学校の総合的な学習の時間に

まとめた歴史や考古学に関する学習・研究成果を募集するコンクール わたしたちの研究室

を開催しています。そこで、「自由研究でそもそもどうまとめるの?」「なにを調べればいい?」

というそぼくな疑問にお答えするBOOKをつくってみました。ぜひここで調べ方のポイント

チェックして、楽しく自由研究にチャレンジしてみましょう! ページをめくってポイントをチェック!

主催・会場 山梨県立考古博物館 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923 TEL 055-266-3881

STEP 01

研究動機をはっきりさせよう!

ふだんから「なんで?」「どうして?」と思っていることを書きだしてみよう。その中で一番調べたいものをえらび、なぜそれを知りたいのか、理由を言葉(文章)にしてみよう。

STEP 02

調べる方法をかんがえよう!

知りたいことの調べ方をかんがえよう。インターネットだけでなく、博物館や図書館など、くわしい人のいる場所へ行って質問したり、興味のある遺せきなどへ実際に行ったりして、よく観察し、新しい発見をしてみよう。

STEP 03

調べた結果をまとめよう!

「なに」を調べたら「どう」だったのか、とくにSTEP01・02で調べたいと思ったことはくわしく書いておこう。また、文章のほかにも図やグラフ、写真・地図などをつかって、見やすくなるように工夫してまとめよう。

STEP 04

自分の考えをしっかりと書こう!

調べた結果、自分はこんな風に思った、考えた、ということもできるだけたくさん書いておこう。正解でなくてもいいので、自分なりの考えを自分の言葉で書くことが一番だいじなポイント。



書き方例

自分らしくわかりやすいタイトルをつけてみよう

※コチラは一例です。自分なりに工夫してまとめましょう。

**○△□について**  
考古博小学校  
4年Z組 こうこいちこ

STEP 01 研究のきっかけ(どうして知りたいのか)

STEP 02 調べた方法(どうやろう・ここ行こう)

STEP 03 調べた結果(こうなった・ここ行った)

4のつづき

写真とか図とか

STEP 03

5. 考察(気づいたこと・わかったこと)

STEP 04

6. 感想・まとめ(思ったこと・まとめ)

7. 参考図書・サイト(調べるのに使ったもの)

# テーマに困った時の参考例

例1

自分の身のまわりのものに注目して、今とむかしのちがいや持ちよう・変わったことをしらべてみよう!



こうしたモノが、「いつからあるのか」「どんな使われ方をしてきたのか」「カタチや種類にちがいはあるのか」など、ぎもんと思ったことを書きだしてみ、今とむかしをくらべたりこれからどうなっていくのかを考えたりしてみよう。

例2

自分の住んでいる地域についてしらべてみよう!



自分が住んでいる土地や通っている学校にかかわることに注目してみよう。「あの地名ふしぎだな。なんでそうよふんだらう?」「このおみやげっていつからあるの?」といった、その地域ならではのふしぎや、学校の歴史や校歌、通学路のことなど、いつもは気にしていないけれどじつはよく知らないことについてしらべてみよう。

それでも迷ったときは... 近所の博物館や資料館に行ってみよう!

テーマに迷ったときは身近な博物館や資料館へ行ってみよう。さまざまな時代のモノがおいてあったり、専門家の先生(学芸員)に直接お話を聞くことができたりと、研究のアイデアがみつかりやすいよ!

※博物館で学芸員に質問したいことがある時は来館前に電話などでお願いしておこう。

できあがった作品は「わたしたちの研究室」に応募しよう! くわしくはつづのページへ